제75호 1909. 4. 6.
（明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可）（日刊）日曜日及祭日の翌日休刊 明治四十二年四月六日（火曜日） 第七十五號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●澤田局長の演說（一）

▲新任日本人主事に對して

今回地方官々制を改正せられ地方に日本人主事を增員することゝなり諸君は第一着に其選に當り愈々地方に出て實地に事務を取扱ふことゝなれり今日までは地方局に務て事務を見習ふに過ぎざりしが以後は責任の地に立ち一身を社會の紛爭渦中に投し在らゆる辛酸を甞めんとするものなれは此間に處して自から失意のこともあらん或は得意の時も來らん宜しく不撓不屈の精神を以て最後の成功を期せさる可からす今官吏として服膺すべき要點の一二を指示すべし

●第一　官紀の事　官吏たる以上は紀律を重んせさる可らす官廳に於ては其人の能不能よりも寧ろ紀律を重んする者を尊ぶ服務の紀律は細目に渉りて種々になるべしと雖も第一は服從の義務にして上官の方針命令に違背せざるに在り天才として或は諸君は上官より優ることもあらん又諸君が爾か思ふ場合もあらん個人としての批判は任意なるべしと雖も苟も上官たる以上は階級上相當の敬意を拂ひ上官の方針又は命令に對しては縱令ひ衷心不服のことありとも必ず之に服從せざるべからず若し諸君が徹頭徹尾其所信を枉くる能はずんば進退を賭するの外なし否らざる限りは服從の義務に違背すべからず如此きは實に明瞭なる所なれども官吏たる經驗なき者には得て陷り易き弊害なりとす宜しく特に注意すべし諸君が學校生活を營む時代に於ては級別の外所謂階級なるものに重きを置くの必要なかりしと雖も官廳に於ては階級の區別甚だ嚴重なり蓋し階級なるものは命令服從の關係を發せしむる原因なれば決して之を無視すべからず然れ共自已の意見を述ぶるは上官に對する時と雖も毫も憚るべきにあらざるを以て其所信を吐露するに何等妨けあるなし而して其意見の採用せられざる場合は即ち之に服從すべきのみ抑も服從は人の美德たるのみならず人に服從するは人を服從せしむるの基たるを念ひ上官に對しては意見を陳述するの外畛域を超へ勝敗を爭ふが如きは絶對に愼まざるべからず服從は官吏の根本觀念にして服從なければ官紀は到底維持せらるべきものにあらず

●第二　法規及先例を知悉する事　諸君が學校に於て學び得たる所は何れも新智識なり既に幾分の新智識を有す將來益々新智識を吸收するの素地を有するものなれば愈々奮勵研鑽せざるべからず而して諸君は此新智識を以て上官を凌ぎ又は同僚に打勝んことを求むる勿れ新智識の應用は即ち上官又は同僚を補佐するに在ることを忘る可らず

（イ）韓國の法令は未だ不完備の域に在るのみならず既に發布せられたるものと雖も其効力の有無すら判明ならざるものあり故に諸君が事務を處理するに當り大なる困難を感ずることあるへし日本の法令を熟讀し事務に經驗あるものと雖も時に臨んで處理に困しむこと少なからず況んや諸君は未だ日本の法令を熟讀したることも少なかるべき事務上の經驗亦乏しきに於てをや此點に付ては日本の官廳に奉職するものに比し其勞更らに大なり殊に日本人官吏は韓國官吏の指導者として此國に臨むものなれは日本の法令を熟知すると同時に韓國の法令も亦熟知せさるへからず故に官報は日韓共に之を熟讀し大体の法令は之を暗するを要す然らされは事に臨んて措置に窮すべし

文苑

●懷友歸鄕　孤吟

久し振りで故鄕に歸つた、親兄弟は依然として達者である、併し僕は何となくうら恥かしい面目ない感じがした、并は五年振りで歸鄕したに拘はらず、實は未だに何等の爲す所なく碌々として縕袍の窮措大たるを免れぬことである、否な打ち明けて話すと歸りの滊車賃はたろか其の日〳〵の小遣錢にも窮して居る有樣なので……而して此の僕の窮狀を見て取つた兩親は表面にはソレと現はさないが內心は何うやら不滿足らしい、滯在五日僕は居溜らずして韓國へ歸つた、ソシてツラ〳〵思ふた、零落して居る內は斷じて歸國するものではない……と

●預金帳　悶々子

今朝銀行の預金帳を見たら僕が理想の二十分の一に達する丈の金額がヤット溜ッた、即ち元利共五百圓ツマリ理想の貯金は一萬圓なのである、併し恁う五百とか六百とか纏つた金が出來ると何となく野心が起きて來る、空しく廉い利で銀行へ預けて置くよりかイッソ他人に貸して比較的高い利を收むるか又は家屋でも買つて家賃を取り立てやうかど、ダガソレは危險だ銀行へ預けて置けば大丈夫だなどゝ頻りに胸の中で暗闘が始まるスルト心の奧の方から其の金は動かさない方が利益だといふ聲がかゝる、ツマリ此の聲は僕の意志で、凡ての暗闘もヒッソリと熄んで了ふ

佐倉宗吾（四十五）

眞龍齋貞水講演

この表御門と謂ふものは、重いものでございます、俳優でも、高島屋小團治が、宗五郎を扮た事がございました、其時に草鞋を脫いて、其草鞋を重ねて、御門の地幅へ挾んだ、何事も知らない見物は、大變こまかい、銘人だと謂つて褒めたが、斯りや間違で、銘人でも何でもない、御地幅の下へ、草鞋など挾むと云ふ事はございませぬ、此御門の御地幅の重いことは大變、ことに表門は御城に對すれば大手なり、其大手へ對して、左樣な御無禮は出來ませぬ、斯りや跣足で御繰門の方から、そつと入りましたのでございます、大石內藏之助が、元祿十五年十二月十四日、本所松阪町、吉良上野之介御屋敷へ討入つて、首尾克く仇討を遂げ、泉岳寺へ引揚げた時、仙石伯耆守が大目附で御調べになり、其後細川越中守、松平隱岐守、毛利甲斐守、水野監物の四人に御預けに成つて、夫から御老中の方々が御調べに成りますと、大石が十八個條の難問を申し開いた、其十八個條の內に、表門を破つて亂入したるは、如何なる理由との御尋ねがあつた、其時內藏之助が表門の重き事は、承知まかりある內藏之助なり、御無禮を致せし覺ゑ毛頭これなし、吉良の附人、上杉の御家來、その他の人々、討入りと聞いて慌てふためき、終に屋敷內より表御門を押破つて遁れたものに御座候と申し開いた、言葉と云ふものは、使ひやうなもので吉良の家來と、上杉の家來が、逃げるため、門內から其門を押破つたと云つた、ナニそんな分らぬ事はないが、それが申し開きとして立つたのでございます、たつた一言でも、重い人の言葉は、大切なものでございます、恐れ多くも天皇陛下の御言葉は綸言と謂つて、綸言汗の如しなども申します、將軍と稱し奉つて、征夷大將軍の御政治を掌つた、德川家の御言葉は之を上意と謂ふ、上意は風の如くなびゝ申します　上つ方と云ふものは、なか〳〵片言隻句も、容易にはしやべれぬものであります、田夫野人のポン〳〵言ふのと異う左樣なる次第でございますから、宗五郎は窃かに御門の御繰門の方から入りますと、御玄關前に、堀田大和、川越播摩の兩人が控へて居る、宗五郎これを見て、遙か大地へ手を突き　宗「ハアーッ」大和殿、宗五郎の容子を御覽になると人品骨柄いやしからず、殊に沈着いてゐる　大「斯りや、其方は何と申する　宗「ホ、ホーッ、私は下總の國は印旛郡公津村名役人、木內宗五郎と申すものでございます　大「ホ、ホー、左樣なるか、今朝殿樣御登城の折、御駕籠に縋りしは、其方共、上を恐れざる無禮の致方であるぞ　宗「ホ、ホーッ、恐れ入り奉るが、佐倉城附六万石に對する、二百六拾九箇村の百姓、一同難儀に及び候に依て、恐れあるをも顧ず、右御駕籠訴に及び候段、重々の不屆、偏に御宥免下し置かれて願書の趣御採り上げを願ひ奉ります　大「して其方共御駕籠訴の次第は　宗「ハ、ハーッ、是なる願書に、委細認めござる」それを御取附けに成つて、大和殿みづから披いて御讀み遊ばすと、驚いた御國表城代堀田玄蕃の壓制、取笠の運上、鋤鍬の運上、疊一枚に就いて幾らと云ふ運上、いやどうも恐ろしき所の運上、殊に向う三箇年二割增の運上を取立てるとある、大和殿ホッと嘆息を御吐き遊ばし、叔父の播摩殿に御見せになる、播摩殿この願書を御覽になると、身顫いをして　播「斯は恐ろしき國詰城代の壓制、これでは御領分百姓達、成立つ事は叶ふまい」と御仁心ありき御方々なれば、ハラ〳〵と御落淚　大「こりや宗五郎、只今御主君に、此事を申し上げ奉るが、兎に角汝は、我が小屋へ同道せよ、此大和が取計ひ、御領分の百姓、安全に立行くやう、申し上げて得さするぞ　宗「ハアーッ、有難き仕合せに存じます　大「叔父上、御引取り下さい、この宗五郎より、尚一應聽取りまするでございます　播「道理と存ずる、能くこの宗五郎より聽き取られて然るべく　大「ハ、ハアーッ」

（京城新報）

現代の惡風潮

國の衰敗は國民の元氣如何にあり、羅馬帝國の衰亡したるは其國民に剛健なる思操の消耗したるが爲なり、ビザンチン帝國の衰へたるも之が爲なり、陸に幾萬の貔貅あるも海に幾多の艨艟あるも、其國民の思操にして質實剛健を欠き唯だ浮華輕佻に流るゝに至らば其國は決して健全なる發達をなさゞるなり、之れ歷史が明に余輩に敎ゆる所なり。

近代日本帝國に於ける國民思操の風潮を見るに甚だ寒心に堪へざるものあり、物質的文明の進歩すると共に、其思操の漸次浮華輕佻に流れんとするの傾向あること是也、然れども忌むべき此思操の著しく現れ來るは概して中流以上の人士にして、多數の國民は今尚ほ剛健なる思想堅實なる操守の存在するを以て心强しと雖も、國家の中心たるべき中流人士の志操にして滔々として墮落するに於ては其波動の影響は總に一般に及ばずんば止まず、今に於て矯正せざる可らず、之れ余輩が此風潮を以て寒心に堪へずと絶叫する所以なり、

近時浪費の風潮一方に於て僥倖心を挑發し、一方に於ては淫蕩の風を盛に起さしむ、見よや中流以上の人士が爲す所を、花柳の街に其名を知られざれば紳士の資格なきが如く、虛業に手を出し利權運動をなさゞれば當世紳士の資格を欠くが如くに誤想せり、現時代紳士の多くは實に好箇の標本なり、嗚呼花柳の街に誇り或は虛業を試みて蕩侈の夢を見んと焦慮す、斯る惡風潮は滔々として貴族を毀り、富豪を倒し、官吏を腐敗して底止する所を知らず、虛業と花柳街とは殆ど附物の如く、花柳街に足を投ぜざれば何事も纏らざるが如くなれり、貴族が體面を毀損するも、富豪が產を破るも、官吏が收賄するも畢竟此花柳界の勢力が餘りに激甚なるが爲なり、要するに彼等の花柳街に嬉遊を貪るには金錢を要す、其金錢を得ん爲に虛業に手を染るを捷徑とす、擧世滔々として僥倖心に驅られんとす、危險之より甚だしきはなし、

神戶の富豪光村某の零落は好箇の標本なり、彼は先祖傳來の財產幾百萬圓を虛業と遊蕩とに蕩盡して今や他人の哀を乞ふの境遇に陷り、所に彼と同境遇に瀕するもの少からず、光村某のみならず至る唯彼は新聞記事によりて世人の注目を惹けるのみ、

此惡風潮を觀察して韓國に於ける同胞の境遇に及ぶ、韓國在留邦人間にも其傾向あるは誹議するに躊躇せず、淫蕩の風土氣の墮落に於て之が矯正の方法を講せざれば健全なる殖民地の經營をなす能はざるに至らん、今其現狀を見るに官吏は比較的俸給のよき爲に花柳界に沈溺して貯蓄の念なく、在留民も亦此傾向あり、京城に於ても仁川に於ても釜山に於ても在留人口に比較して靑樓なるものが如何に多きかを見るも其一班を知るを得む、靑樓の勢力は厖然として在留官民を籠絡せんとす、之が爲に在留官民の志操に大なる打擊を與ふ、余輩は其志操の墮落を大に悲むと共に經濟の點に於ても深く痛惜するものなり、元來殖民地の資金なるものは在住者の貯蓄に依らざる可らず、素より資金の輸入も必要なれども其輸入すべき資金を呼ぶ資力なかる可らず、英國人が到る處の殖民地に於て成功しつゝある重なる原因は勤儉力行の結果自己の資金を貯蓄せるに依る、是を以て余輩は在住邦人が剛健なる思想を養び堅實なる操行とを以て富の貯蓄に勵精せられん事を切望す、余輩は決して村夫子的に人世の快樂を捨てよと苦諫するものにあらず、唯此惡風潮に襲はれずして健全なる士氣を保持せざる可らずと云ふのみ、現代に於ける惡風潮を今に於て防止するに非ざれば帝國の前途に對して甚だ憂ふ可きものあると共に大陸經營の基盤たる韓國經營の任に當る在留官民が此風潮に沈溺せざらんことを切に苦諫するものなり、

御用紙の本領

去る乾元節に稀代の名文を掲げて同節を祝し世人を驚歎せしめたる統監府の御用紙京城日報は　皇祖神武天皇の祭日に當りては一言半句敬祝の文字を載せず粗漏か怠慢か將亦統監府の內意か余輩は急に日報紙の答辨を聞かんと欲す

宇佐川總裁

東拓總裁宇佐川男爵は氏が主催せる園遊會に於て一場の拓殖講演を試みたり之京城園遊會に於て破天荒の事たり以後園遊會を開くの士は須らく宇佐川男の所爲に倣ひ可成長き講演を以て來客を遇するの途に出さべからず

（東京電報）

▲討伐隊の行賞

暴徒討伐に關する行賞は將官以下將校は日露戰役によりて官等に對する最上の勳章を有するもの少なからざれば將校以上は多く一時賜金とし勳章を與へらるゝは少數の靑年將校と下士卒に多かるべし（四日發）

外報一束

▲戰雲一掃さる

主戰論の中心たりし塞爾維國太子ジョージ親王の王位繼承權拋棄と露國に對する獨國皇帝の强硬なる忠告とは巴爾幹の浮雲を一掃したり而して去月三十一日を以て塞爾維より墺太利に致したる通牒は悉く墺太利に滿足を與へり

▲滿洲干涉不要

英國保守黨下院議員ウインタートン伯は滿洲の問題に關し英國政府は淸國を助くるの意ありやと質問したるに外相グレー氏之に答へて曰く政府は如何なる理由に據つて干涉し得べきやを知らずと云ひ何等干涉の意なきを示せり又倫敦「タイムス」北京通信員の電報に曰く日本は淸國外務部に向つて滿洲懸案を海牙仲裁廷に附するの議に同意し能はざる旨聲明せり

▲在野黨首演說

英國在野黨首領バルフォーア氏はイズリントンに於て保守黨員七千名に對し演說して曰く余は能く政府をして英帝國海軍に關する義務を承認せしめたりと云ひ、又母國は殖民地の『ドレッドノート』型戰鬪艦獻納あるに顧み植民地の關稅意見を聽納して以て之に酬る所なかる可らずと述たり

▲露國外相引退

露都電報は露國外相イスヴォルスキー氏は露帝の口づからの諭旨によりて其辭職の意を緩和せられたり露帝はイスヴォルスキー氏に對し巴爾幹の危機に關する最後の結果が承認せらるゝに至る迄其辭職を差控ふべき旨を以てせられたり

▲極東太守任命

露都電報は露國極東太守の任命決定せりと報じ來れり

▲露國大臣視察

露國交通大臣ルフロフ氏は來五月極東に來るべし

▲獨逸首相位地

去月三十日朝獨逸各新聞の論調に據れば帝國議會に於けるビューロー公演說の結果首相の位地は一層の鞏固を加へたりと

（雜報）

●親耕の狀況

韓皇には豫定の如く昨日午前時昌德宮出御、義親王以下各親王、李總理、閔宮相以下各大臣趙耕籍使、金中樞院議長以下各顧問、尹侍從院卿、小宮宮內府次官以下各次官其他從耕諸員を從へ東大門を距る約一里なる東籍田に行啓せられたるが先着の曾禰副統監以下日韓文武官其他の出迎ひを受け特に新設したる玉座に暫時休憩の上親耕の式に移られたり親耕田には同地附近より撰拔したる老農道筋の兩側に並立し韓皇には宮內府の合樂吹奏の間に黑牛二頭の曳引せる犂に手を附けられ二反步の田地を一直線に一往復の後春麥の播種を爲し了つて耕藉使趙農相の發聲にて韓皇の万歲を唱へ曾禰副統監以下陪從員其他日韓文武官、各學校生徒及陪覽の日韓官民之れに和し夫れより各親王、各大臣、中樞院顧問、各次官及宮內府高等官の從耕員は韓皇と同一の順序に於て鋤鍬をとり之れにて第一の式を了りたるが韓皇には晝餐を召され少憩の後再び農商工部より用意せる苗木を小山の如き所の地に手植あり次で各親王以下從耕員は之れ又韓皇と同一の順序にて苗木を植ゑ之れに全く式を終り午後四時還宮相成りたるが長らく廢れたる舊典を復興せられたる盛事として各戶に國旗を揭揚し奉迎送の誠意を表し沿道亦日韓官民の今日の盛儀を拜觀せんとて群集するもの無慮十萬、東大門內外は人山を築きたりと

●拜謁と免稅

別項東籍田に於ける親耕の際し同地附近より特に撰拔されたる老農二名は拜謁を賜はり尚東籍田は一ヶ年間の租稅を免除されたりと

●驛屯土調查濟

東洋拓殖會社に於ては先日來各地に出張して引繼ぐべき驛屯土の調查中なるとは既に報せし如くなるが各出張員は夫々調查を了り歸社の上其の報告を爲したる由にて引繼ぐべきの方針に就ては目下協議中なりと

●伊藤統監の上京

伊藤統監は昨五日大磯より午前上京せし旨其の筋へ電報ありたりと

●李容九の歸京期

曩きに東上中の一進會長李容九氏は四月十五日歸京すべき旨其向へ通信ありたりと

●東拓株主總會期日

東洋拓殖株式會社に於ては來る五月二十二日東京にて株主總會を開く事に決定せるが其場所等は目下上京中の井上理事處理すべき筈なりと

●親耕と東拓の重役

拓殖會社の重役以下課長以上は昨日の親耕に參列せり

●恩賞課長辭職請願

軍部恩賞課長閔用基は此程辭職を請願したるが不日宮內府勅任典祀に轉任すべしと

●葛峴地方行通杜絕

長城郡葛峴地方に於ては多數の暴徒出沒して橫暴を極めつゝあるを以て目下行通杜絕の有樣なりと

●統監府報告書編纂

統監府より出版すべき明治四十一年度報告書は邦文の分は從來服部暢氏に依て擔任され居りしが過般同氏の囑託を解かると共に英文飜譯事務囑託長尾男柳氏の手に移さるゝことゝなりたるも英文の分は依然菱田靜治氏の編纂に係り居れるが其刊行を見るは矢張り十月頃なる可しと云ふ

●纛島模範場の觀覽

纛島なる園藝模範場は樹園の花木何れも綻び初め七月二十日頃は滿開する模樣にて京城より遊覽に出懸くる者多く昨日は大久保軍司令官以下幕僚將校等八十餘名遠乘りの途次立寄り又三井物產より淺野支店長以下店員二十餘名一昨日は米國總領事の一行も來觀せりと

●京城中學校入學生

京城中學の入學希望者は昨五日までの申込數百二十九名にして內三十二名は二年級へ編入の志願者なるが此の模樣よりすれば豫定人員の百五十名は優に募集し得べしと云ふ

●東拓の披露宴

東洋拓殖會社にては既報の通り再昨三日神武天皇祭の佳節を卜し昌德宮內慶會樓上に於て披露し宴を催したるが招待に應じて來り會するもの一千餘名近來稀なる盛會なりき、殊に當日は今年に入つてより初めての好日和にて春色靉靆氣は麗かに風は暖かく眞に盛宴の日として最も恰當の日なりき來賓の重なるものは曾禰副統監を始め各領事及び韓國皇族、各大臣日韓文武高等官其の他紳士紳商新聞記者等にして軈て午後三時三十分に至り一聲の爆竹轟然として鳴り響くや來賓一同は設けの席に着し獻酬正に酣ならんとする比ひ

▲宇佐川總裁は起つて左の如き演說を試みたり

本日東洋拓殖會社の開業披露を催うすに當り顯官並に紳士諸君の賁臨を辱ふせしは本社の最も光榮とする所なり惟ふに韓國刻下の急務は素より一にして足らざるべきも其の最も急を要するものと認むるは先づ富源の開發なるべし蓋し富源の開發は地方產業の改善發達を圖り以て民人の產を裕にし國家の富力を增進するものたり而して韓國十三道到る所土地肥沃にして穀菽の產に富む然れども其の施設經營宜しからざるが爲め天與の利益を十分に收むるを得ざるは實に遺憾とする所なり即ち本社が韓國の拓殖を目的として起りし所以は爰にあり而して日韓兩國の政府が特に保護を與へらるゝも即ち爰にあるなるべし言ふ迄もなく拓殖の事業たる頗る至難の業なり一朝一夕にして之が效果を收め得べきものに非ず從つて永遠の間に其の步武を進むるにあらざれば到底完全なる成效を期す能はじ幸に官民の多大なる同情に依り之が目的を達し好成績を擧げんことを希望せり而して之が豫期の目的を達し好成績を擧ぐるを得るに至らん乎之れ啻に韓國殖產興業の發展を促すのみならず是に依つて兩國の親善と韓國經濟狀態の圓滿なる發達を期するの連鎖となるは敢て言ふ迄もなき所なり滿場の貴顯及び紳士諸君願くは本社の趣旨を翼贊せられ將來益々扶掖提撕の勞を垂れん事を切望して已まざる也

本日は折角光來を仰ぎ接遇上何等是といふ設備なきは寔に慚愧に堪へざる次第なり只望むらくは半日の淸觀を盡すことを得ば本懷とする所也云々

右終るや總理大臣李完用氏は起ちて一場の祝辭を述べられたり

▲萬歲三唱　之より再び獻酬に移り花月、梅翠、淸華、松葉の諸紅裙宴席を周旋し和氣融々の裡歡を盡せしが軈て李總理は起つて三鞭を上げ日本皇帝陛下萬歲を三唱し衆之に和するや這度は曾禰副統監起つて三鞭を上げ韓國皇帝萬歲を三唱し衆又之に和して宴を了りたり

▲會場の光景　會場たる慶會樓上は天井に各國々旗球燈を飾り柱は何れも紅白の布片を以て包み又迎秋門內松樹疎生せる邊には紅白の幔幕を張り回はし諸所に摸擬店を設け左方の芝原には日本劇、朝鮮劇等あり來賓の眼をば絕ゐず喜ばしめにり

●滿韓駐剳軍現狀

滿韓駐剳軍を巡視したる某將校の談に曰く

▲滿洲駐剳軍　第十師團は長春、鐵嶺、奉天、遼陽、大石橋、熊岳城、瓦房店、旅順其の他主要の地點に多きは大隊少きは中隊又は小隊位づゝ配備しあり隊長は機宜に應じて是等の散在兵を一ヶ所又は數ヶ所に集め夫々敎育を爲しつゝあるも內地師團の如く同一營內に居住するにあらずして各所に分遣され守備に任じ居るを以て從つて敎育、軍紀風紀の上に好ましからざる影響を及ぼす事尠しとせず殊に軍隊內務書綱領中に『兵營は艱苦を共にし生死を同うする軍人の家庭にして其起居の間にて軍紀に慣熟せしめ軍人精神を鍛練せしむるを以て主要なる目的とす』とある所謂家庭的團欒を缺き延いて軍隊に於て最も必要とする團結力の欠乏を來しつゝあるは甚だ遺憾とする處なり平時隊內敎育に就ては師團長以下各上長官の周到なる注意と訓練とに依り比較的好成績を擧げつゝあるも精神敎育に欠くる處あるを憾みとす次に

▲韓國守備隊に至りては其勞苦滿洲守備隊の比にあらず暴徒の搜索、偵察、戰鬪は日々の任務にして恰も戰場に於けると異ならず從つて軍紀、風紀の敗頹は多少免れざる處なり敎育上に至りては時々野外演習を爲すも是亦內地の夫れに比すべくもあらず韓國の如き無秩序にして而も多數暴徒の蜂起する國に駐剳する部隊は到底完全なる敎育は望むべからず故に守備隊の成績が內地諸部隊に比し常に一段劣れる處あるも這は決して指揮官以下將校の責任に起因するものにあらずして任務、編成、氣候、風土等の關係上自然の結果として已むを得ざる處なり云々

●軍司令部道路落成

龍山なる軍司令部より兵器廠に通ずる大道路は山本技手設計し波岡主計擔任京城の山本村太郎氏此れを請負ひ四月廿五日の落成期限たりしが三月四日着手し四月四日を以て全く工事を終り坦々たる大道落成したりと云ふ

●中學校の學則認可

京城中學の學則は本六日其筋より認可あるべき筈なり

●國民新報社長の解職

國民新報社長韓錫振は此の程其の職を解かれたりと傳ふるものあり

●全州日本人會豫算

全州日本人會に於ては去る三十日評議員會を開き四十二年度歲出入豫算案を評議せしが總て原案に可決したり其豫算額は歲出經常部計金二千九百圓十二錢にして歲入經常部も亦同額なりと

●韓人勞働會の擴張

韓人の組織になる勞働會にては去る三日役員總會を開き南部纛島に支部設置を認許し役員の選擧を爲したる結果部長に劉聖達、副部長に李泰貞、總務に車世麟、監査に李完弼等撰定さる

●釜山町名番地改定

釜山町名番地の復雜せる今日に於て之を改定せんとて民團當局にて調査中なりしが右調査は略ぼ成就したれば遠からず民會を開て之を諮問し發布する由にて其發布期は本月末頃なるべしと

●水雷艇の仁川入港

水雷艇四隻（木浦近海警邏のため派遣中なりし）は昨日午前七時半仁川港に投錨せり

●朝鮮水產組合多忙

釜山朝鮮海水產組合本部にては去る一日より新漁業法實施されたるに付き證明願、漁業出願者續々來り其他の事務一時に增加し非常の多忙を極め居れりと

公人私人

▲渡邊暢（大審院長）往復一ヶ月の豫定を以て東京に出張を命ぜられたるが七日午前八時五十分の南大門發にて出發する由
▲吉川岩喜（平壤鑛業所技師）四日入京天眞樓
▲守田六男（農商工部林業大邱事務所長）四日歸任
▲白井良一（統監府特許局審查官）四日東上す
▲恒吉忠承（陸軍少將）四日歸任
▲土方消（恒吉少將隨員步兵大尉）同上
▲阿坂茂三郎（水原勸業模範場技師）四日入京浦尾旅館

近事片々

▲韓皇の親耕式は昨日行はれたり文武百官扈從して其行列は頗る壯觀を極めたり
▲曾禰副統監も現場に臨まれ其光景を見らる
▲綺羅星の形容も啻ならず太平の御代可祝
▲敬意を表する爲に諸官衙休業して新聞の材料乏し讀者諸君幸に諒とする所あれ
▲統監府の豫算減せられて囑託を解かる者二三に止らず漸次尙は縮少せらるならん
▲統監府官制改正は夙に唱へられし所なるが愈々其實行を見るも遠きに非ざるべし
▲如何に改正せらるべき乎外事課と殖民課と二課あれば足ると云ふものあるが如何
▲此際更に改革して佛國の安南チニユスに於けるが如くせば如何と云ふ論者もあり
▲何れにして保護政治を完全に擧げんとすれば人物の撰擇が一番に肝要なるべき也
▲如何に課を合せ局を革むるも適材を得ざれば到底實績は擧らざる也適材拔擢肝要
▲伊藤統監は來月上旬歸任すべしとの說あるが果して然らば萬事は其上の事なりや
▲公は現職の儘日本に於て韓太子の輔導に任じ政務は副統監に一任云々は唯唯耳乎
▲一說には一進會との關係上公が歸任せざれば納りが附かぬ爲とは果して異なる乎
▲公の擧動は到底局外者の想像し能はざる所何時迄斯くして幾去來すべきや唯呆然
▲寺內陸相の統監說も此頃は更に消へ失せたり何は伊公の統監は永續すべきや否や
▲桂首相は藏相兼任に味を覺へて此後も兼任を永續すべしと云ふ永續流行の世なり
▲而して桂侯は藏相として第二の財政整理を自ら行はんといふテモ精力過絕の人也
▲淸國が我に對する懸案問題に就て仲裁々判の申出でを帝國は斷然拒絕せりと云ふ
▲小村外相とて何後迄交讓のみ繼續せんや今や多少覺醒したるならん先づ喜ぶべし
▲英國の發明家大陽熱を引き電燈を得る器械を發明せりと太陽燈も終に現實せるが

[redacted]正の件公布さる（五日發）

[redacted]周する徒歩競爭を行ひ優勝者には賞品を與へ夜は小學生徒の提灯行列を催さしむる筈

[redacted]業講習所と特約し精撰蠶種の販賣をなし蠶飼育法傳習及教授の依頼に應ずる由

[redacted]につきては目下協議中

雜報

●滄浪閣で五千圓

▲賊は十五歳の少年

大磯町滄浪閣は伊藤公歸京準備の爲め非常に混雜中なりし去月卅日の午前十時半どいふ白晝隙を窺ひ賊忍び入り婦人室にありしダイヤ入純金の指環六個、同襟止三個入の信玄袋及び手傳人岸源四郎娘の衣類四點總べて五千圓の物品を盗み去つたるより大磯署にては非常線を張りて犯人嚴探中同日十時四十四分大磯驛上り列車の發せんとする時周章て乘込んとする十四五歳の少年あり擧動不審なるより警戒中の警官が取押へ同署に引致して取調べしに此者は横須賀市浦ケ浦和平長男永井梅之助（十五）といひ件の盗品を懷中し居りたり申立に依れば同人は麹町區飯田町一齒科醫荒井方に雇はれ居たるも不都合ありて放逐され其後東海道筋を放浪し當日大磯に至りて滄浪閣の前を通りしに家内の混雜せるより惡意を生じ忍び入つたるものなりと

●囚はれたる婦人（一）

▲虚榮心の權化

氏無うして乘る玉の輿は兎角に居据りの惡しきもの也、茲に書き出すは統監府〇〇部に奉職する某との〻誤妻君なるが猫も杓子も夫人とやら奥樣とやら呼ばる〻韓國今日の狀態とてソンジヨツコの譯婦人連中は決して他處言と思ふ可らず却說く

▲原籍は四國 伊豫の國は高濱在の漁村父は作兵衛と云ふ漁師なるが出で〻は逆捲く浪と闘ひ入りては苦き家計を爭ふ浮世の慘憺たる暴風に遇ふては寄る年浪の老爺も老いたり矣そが中にしもこればかりは樂しみと云ふは女房が忘れがたみのおくにと云ふ一人娘にて鄙には稀れなる容貌の何處となく品わるも嬉しく鳶が鷹を產んだと云ふ世間の批評も老爺がためには甚ど自慢の種なりけり、さるからに此娘元來ならば磯邊に出でゝ地曳網でも引張るのが當然なれども潮風荒きを厭ふての事か但しは老爺の煩惱故か、幼なきより落にも出です老爺の留守は唯だ一人小やかなれども茅葺きの家にれ飯炊いたりた菜を煮たり松葉でた烟を溫けもして老爺の歸へりを〇つ習ひの村には

▲珍らしき孃ちやん なりけり、されはこそ女には能くあり勝ちの虛榮と自慢の惡しき心は早や此の時より萌し初めて一年都よりの海水浴客を見そめたる彼女は磯に鹽燒く蜑男の妻となるべくは餘りに情なく感じたるなり

●仁川近海の賊

玄米百七十四叺を強奪す

忠淸南道オーヨン島に於いて米穀商林命坤金芳善の兩人が一千余の玄米を二隻の帆船に積み數日前潮待ちし居る際數名の海賊に襲來せられ玄米百七十四叺を横奪せられ漸やくにして仁川に逃かれ來りし由なり

●檢番設置の決定

▲愈々二ケ所に設置す

京城に藝妓檢番設置の說ある事は屢々記載したるが其後各樓主は十數回集會を開きたる結果愈々本月十五日より二個所の檢番を設置する事に決定したりと今其内容を聞くに甲檢番は所謂第一流の料亭花月、掬翠、淸華、井門等の妓共を以て組織し之を迎ふる先きも一等料理屋及び一等旅館のみにして乙檢番の方はそれ以下の藝妓を以て組織しそれ以下の旅館及び料理屋さては淫賣屋に至る迄に出入せしむる筈なりと云ふ

●外妾の水ごり 前觀察使李容善は休職後久しく蓬窩の下に蟄伏して復任の命を待つこと切なりしも尚未だ其の命なきより李の外妾は毎夜井水を汲み來りて身を淨め遙かに王城の方に打ち向かひ跪坐哀願し李總理に賴りて復任の運動に力めつゝありといふ

●新町遊廓の繁盛 此處ばかりは浮世を離れた別世界の事とて流石に不景氣知らずの大繁盛一昨々夜の如き遊客總數二百〇八人費消高一千一百六十六圓七十一錢にして就中皆春樓の三十一人二百〇七圓二十一錢などは實に驚き山の鳶島阿呆の數も盡きぬものかな

●仁川の泥棒逮捕 先月末より本月二日までの間に仁川宮町及び花町方面に於ける商家の盗難にかゝるもの頻々として續出し一夜中數軒の多きに達し其の額亦頗る大にして總額一千餘圓の多きに上りたるを以て仁川署の三刑事は毎夜徹夜して市中を密行するも何んの手係りを得ず殆んど當惑し居りしが其の竊盗方法は總て韓人の遣りやらしき點のみなりしを以て三刑事は花開洞より朝鮮敷島に入り込み探査したる所一人の韓人がハンカチ及び眼鏡を持參し登樓し居ると聞き直に取調べたる所右ハンカチは宮町二丁目紀の國屋にて竊取せられたるものらしきより直に捕縛し引致取調べたる所右は大邱生れの趙東烈（三二）と云ふものにて全く同人の所業に相違なき旨自白に及び尚連累者金某が沓洞の金書房方に居ることを自白したれば直に同家に出張したる所數十個の贓品が天井裏床下等に匿しありたるより直に金と共に引き上げ又今一人の連累者金致文（四十）が木浦丸に贓品數百個を積みて釜山に向ひたることを聞き込み木浦釜山兩警察署に打電し置きたるが木浦にて一昨日捕はれたりと

●暴徒漁船を襲ふ 木浦仲大路理事官より其の筋へ達したる電報に依れば去る二日午後康津郡（センソウ）にて日本漁船暴徒に襲はれ邦人六名の內即死二名重傷三名ありたりと云ふ

●店員運動會盛況 去る三日訓練院に於て開催せし朝鮮日々新聞社主催店員慰勞運動會は祭日殊に好天氣の事とて人出多く頗る雜沓を極め近來になき盛況なりき因に最終の四十回自轉車選手競爭は憲兵隊の藤田高助氏先着を占めたり

●▲○◎ ねん子

定めなの世や飛鳥川
きしに繫がぬ捨小舟
ゆら〳〵すれど此中に
こひの重荷が積んである

○

小笹のあられさら〳〵と
響く心にくざかれて
かほに紅葉の立田川
韓くれないの文となる

●擔軍榜杖を喰ふ 明治町三丁目百四十八番戸料理店敷島事松善セイ方に於て二三日前酒の空樽及漬物樽を竊取し去りたる者ありしが一昨四日午后一人の擔軍が要もなきに同家の附近をウロ〳〵徘徊し居るを認めたるより主人は此奴こそ前記の空樽を盗みたる者なるべしとて其筋に突き出したるが此奴住所不定の姜七犯（五十）といふものにて取調べの結果全く前記の犯人にあらざりし事判明して放還さる

●演藝 壽座本日の替狂言藝題は幸田露伴氏作五重塔全五幕にして重なる役割等左の如し

大工花吉（西）棟梁藤五郎（日東）女房おかつ（池田）請負人久兵衛（沖の）住職龍眼（甲東）大工美代吉（稻葉）娼妓高山（上田）大工又吉（三輪）

●正誤 三月三十日付京城居留民團公文欄內七行目京城居留民團ハ團ノ誤 三月三十日付（続）京城居留民團公文欄內四十五行目十〇五錢ハ五十錢九十七行目四七圓ハ四十七圓ノ誤

平民文庫

▲龍山にて創刊せらるゝと云ふ滑稽新聞の初號に掲ける內容と云ふ記事があつたが無實の事を揑造する記事は謹まねばならぬが有の儘を書くには少しも躊躇するには及はぬ滑稽子たるもの正々堂々とどし〳〵やり給へ（正義の神）▲滑稽新聞記事內容が貴紙に掲載されてより非常に驚き揉み消し運動を頻りにやつて居ると云ふが其の成行を聞きたい（刑事の玉子）▲此の頃官吏の腐敗と云つたら話にならない斯る醜族共貴紙にて片つはしからどし〳〵筆誅して下さい左すれば公私の爲めに何程利益になるか（和加羅奴）▲段々暖かくなりますと色々な傳染病が流行しますが皆樣御注意遊はせ（看護婦）▲近頃淫賣の跋扈實に甚し其の儘にては社會の風紀を亂す桐原署長の一考を煩したし（風紀の神）▲旭町二丁目韓京商會には親子の樣な男女が毎日イチヤついて居るが子の樣な男は元本町のある本屋に居た者で女は有名な女出齒龜た相で男でさへあれば誰でも御かまいなし（餅屋の小僧）▲買物に行つても引張る相だ（小僧）▲明治町の萬國屋のドヂヨのかば燒鳥燒スッポン燒の店は成程韓國には始めてだが中々珍らしくて味が能く付けてある亦値段も隨分勉強してある一番賞めて上げ升なれども相成べくは町回りを出して呉れるか又は電話でも架けて呉れ給へ（內地の人）▲私の所へ昨日電話を貸して下れといつて來た人があつたが此の人の喋々ることゝいつたら約廿分間電話口で喋々續けた（本町生）▲去る四日壽座の女道樂を看物したが俳優が不熱心で眞面目に芝居を爲ない且つ時々猥褻なる言語を放ち眞に見るに忍ひなかつた而かも其俳優が池田、西の如き重なる連中と女俳優であるナント看物を侮辱するの甚だしきではないか彼等の如き無見識なるデモ俳は早く劇場から放逐すべしだ（憤慨生）▲四丁目の小間物屋の奧さんは大變れ芝居がれ好でいらつしやいますす耶ね（れ鍋）

●韓語獨習

日語	韓語
桃花か、只今盛りです	トーワーカー、シバンハンチャン、ピーイヨツソ
何の花でも、皆香氣があります	アム、コッチラド、ダ、ヒヤンギーロプソ
花と云ば、美しい考が浮びます	コッチラ、ハミヨン、コウンセヌンカギナヲ
花が澤山に、あります	コッチ、マーニ、イッソ

天氣豫報

（自五日午後六時至六日午後六時）

東風曇但少雨

四日 最高溫度 最低溫度（華氏）七〇、三 四二、六

新德用燃料 無烟煉炭

●特色 火付容く火力耐久價格低廉
●用途 爐、煖爐、竈用に適す

●周防德山海軍省煉炭所東隣 谷口無煙煉炭工塲

京城特約店 京城太平町二丁目 韓國一手販賣 巴商會 電話六〇三番

▲無料紹介欄▼

人事部

求妻 友人血統正、高等教育あり、實業家四十四、財産七千圓あり、三十四以下二十三以上の不幸淑女を求む、寫眞交換妨けなし(花柳界に關係なき者) 姓名在社(二一一)

雇被 たし年四十内地の田舍にあり誠實なれば直に來る保證人あり 氏名在社(二一五)

白毛に淡玉子色の斑(去年八月生)名次郎口側及四足毛拔け居る小犬見當りし人は御一報願上候相當御禮可仕候 明治町二の七五 辯護士岩田(二一〇)

物件部

電話貸したし 氏名在社(二一三)

電話買りたし 氏名在社(二一四)

自轉車一臺買受たし 氏名在社(二一二)

廣告

待合 京城南山町一丁目病院前 電話一〇二五番 花の家

電話開通 九九〇 京城大和町二丁目 青雲亭

電話開通九三三番 旭町四丁目 森安洋家具工塲

電話九百〇二番 内科 婦人科 外科 富久尾病院 京城旭町二丁目 電話九百〇二番

電話開通 九二八 京城大和町一丁目二百四番戸 爲春堂醫院 元賛化病院副院長 古城俐吉

諸傘並に提灯類 印入 和洋蠟燭あり 京城明治町一丁目 大島商店

電話開通 千五十番 京城本町一丁目(民團役所前) 増本好三郎事務所

電話開通 九九一番 京城明治町一丁目 金銀細工商 高木二樂堂

電話開通 九五五番 生蕎麥 東京庵 壽町三丁目

電話開通 一〇七六番 京城本町五丁目 月の家

電話開通 九六九番 疊替新調表 京城壽町三丁目(壽座前) 横井疊店

電話開通 一〇四二 牛豚雞肉 京城明治町二丁目 石田精肉店

診療開始 弊院曩きに類燒の災に罹り休業中の處這般南山町二丁目植村病院全部を讓受け三月一日より診療開始仕候 電話六七五番 南山町二丁目植村病院跡 松岡醫院

●廢物利用● 一金口莨空箱買入れ申候 但百本入に限る 上等金口トルコ莨發賣所 京城本町四丁目 パ子リス商會

登錄商標 極上 本改 白鶴

特約店(いろは順) 本町六 田中支店 電話七六四番 本町四 前田酒店 電話一三七番 本町五 酒井政平 電話八四番

長野縣一府十二縣聯合共進會 一等賞牌受領 ●御簞笥御婚禮道具一式 確實廉價堅固調製荷造入念調進可仕候 營業目錄御入用の節は無遠慮御申越被下度早速無料御送附可申見積書等早速御送可申候間御用命仰付被下度候 東京日本橋區小傳馬町一の三 伊勢喜 久 佐藤簞笥店 東京上野廣小路帝國博品館内賣店

御料理 仁川宅支店

▲清潔の下宿▼ 客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間販々數御投宿の程御願申上候 ▲懇切の下宿▼ 壽町二丁目十番戸横小路(元花屋跡) かめ屋

◎氣候變化=乳牛 ◎牛乳=良純=消毒 韓國畜産株式會社 南大門外(電話八八番)

青々園 風味趣味品質の三者を兼備す 正銘宇治茶京都茶進物用にも適當なり 茶器及茶商 京城本町四丁目 青々園茶舖

◎輕便にして佳味なり◎ 小食堂開始 ◎洋室日本室の設備あり◉ 入口は京城ホテル裏通りにあり 元日本人倶樂部 京城ホテル小食堂 電話一一二三番

明治廿年創立資本金一千萬圓 東京火災保險會社 日本國火災保險業の嚆矢 代辨店 山口吳服店 事務所 京城本町二の三電話九番

開店五週年に付大賣出し 謹啓陳者時下陽春の候各位益々御清榮奉大賀候降て弊店儀開店以來茲に五ケ年に相當し其の間大方諸賢の御愛顧により日に月に繁榮に赴き候段難有奉謝候就ては平素の御眷顧に酬へんが爲め 三月廿五日より四月廿四日迄滿一ケ月間 二割引の減價を以て販賣仕候間何卒多少に不拘御用命仰付下され度偏に奉希上候

表具師 桂 美術書畫 襖、壁、天井張 京城壽町一丁目 桂萬吉

すし、うなぎ 御料理、山遊折詰 春の日の何となく長閑に相成申候折から野邊や遊山の心地よさ殊に興味の多き此頃なれば皆々樣方の御便利を圖り風味佳良は勿論大勉强致し候間何卒御最負の程祈り候 明治町一丁目 松善

最近新形 インデペンデンス 甲革ハ柔軟ニシテ丈夫ナルクローム鞣入ボックスカーフ… 東京市芝區愛宕下町四丁目 總田靴商店 電話二番

特約販賣 自製 漬物 味噌 醬油 製造元 和洋酒、◎精酎、穀物、麵類、銘茶、鑵詰、乾物、荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣 尚御望に依り商品切手調進仕候 京城本町五丁目 大上商店(電話二五一番)

統監府御用 諸官衙人力車 荷物荷造及運搬 營業 京城曙町(電話七三番) 本店 同本町三丁目(電話四〇番) 伊藤組

神田組

京城 株式會社第五十八銀行 電話番號五十八

資本金三百萬圓 爲替取先組

畿内 大阪、京都、西陣、見、伏奈良、郡山、木、高田、田原、本貝、堺塚、岸和田、… 影、兵庫、神戸、住平野、吉、
東海道 東京、横濱、千葉、大磯、甲府、靜岡、沼津、濱松、豊橋、名古屋、宇… 熱田、龜崎、四日市、津、山田、桑名、
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、… 阪、多治見、前橋、伊勢崎、宇都宮、若松、仙台、青森、秋田、七浦、…
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、… 寺、高岡、富山、伏木、新潟、
山陰道 宮津、舞鶴、福知山、豊岡、鳥取、… 子、境、松江、濱田、久手、大田、…
山陽道 龍野、明石、赤穗、姫路、西大寺、… 敷、笠岡、庭瀬、高梁、玉島、… 山、鞆、府、尾の道、三原、吳、… 廣島、岩國中宮市、三田尻、德山、… 山口、柳井本津、平生、長府、小月、
南海道 關、萩、岡山、 串、御坊、田邊、新宮、和歌山、… 德島、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、… 松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、… 中、西條、松山、三津濱、高知、
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、… 米、若津、中津、小倉、門司、行橋、… 寺、佐伯、別府、長須、大分、淡(…) 佐世保、唐津、伊萬里、牛津、呼子、… 崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、
北海道 函館、小樽、札幌、
臺灣 臺北、臺南、
清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、… 浦、羅州、大邱、群山、安東縣、

銀行一般の業務精々便利に取扱可申候

日本郵船株式會社 仁川瀛船出帆廣告 貨物及船客取扱店 仁川海岸通 郡回漕店 電話三九…

●大連行(船客御斷) 新瀉丸 日正午時出帆
●釜山長崎門司神戸行 山東丸 四月十一日後三時出帆
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 四月廿二日正午時出帆
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 月 日前五時出帆
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 四月 八日正午出帆
●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 四月 七日午後

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止塲ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一ヶ月前金三十五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月…
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行金五十錢▲一回四十錢 廣告五號活字十九字詰一行…

發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
發行所 京城新報社 京城西署西小門通 電話六六三